

広報

あいそめ

AISOME

第13号

令和3年1月



ゆず収穫作業

自主

自分のものとして考える

自立

自分の力で育てる

共働

一緒になって働く

共助

お互いに助け合う



公益社団法人

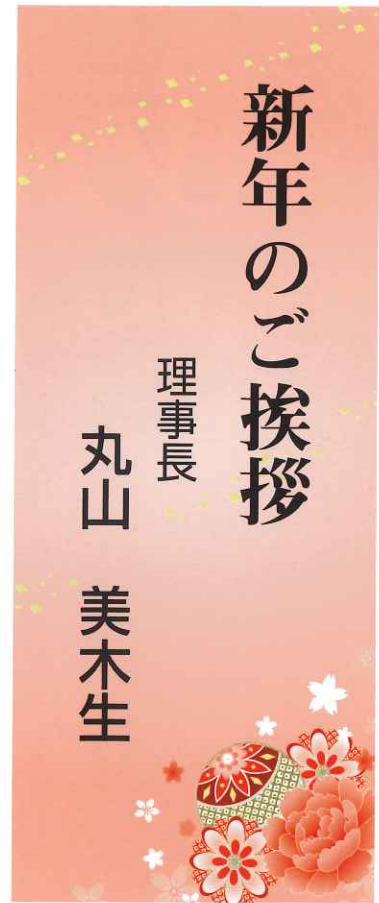
西都市シルバー人材センター

〒881-0033 宮崎県西都市大字妻1621番地 (あいそめ館内)
電話 (0983) **43-0171** FAX (0983) 43-5801

会員のみなさま方におかれましてはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

ところで、ご承知のように昨年から新型コロナウイルス感染症という過去に例のない、世界的に、そして日本列島をこれ程恐怖の渦に巻き込む流行が急増する中で、生活及び就業が本当に大変だったと察するところですが、そのような中で年末迄の事業量は前年対比、個人家庭は増加の傾向にありますが、全体では若干の減少傾向となっているようであります。

又、申し上げるまでもなく我々役員一同は今後みなさまの安全適正就業に力を傾注する所存であります。どうぞ新型コロナウイルスが一日も早く終息して平常になることを願いながら御家族共々予防を肝に銘じてこれからの日常生活を送っていただき、本年がより良き年でありますようご祈念申し上げます。



シルバー人材センターの目的

高齢者の生活の充実

◎高齢者の生きがいの充実、健康の維持・増進

高齢者に働く機会を提供し、生きがいの充実や健康の維持・増進を図る。

◎高齢者の生活の安定

高齢者に働く機会を提供し、高齢者の経済的な生活の安定を図る。



地域社会への貢献

◎地域社会の維持・発展

高齢者が地域社会の担い手として活躍することを通じて地域社会の維持・発展を図る。

◎現役世代の下支え

育児、介護などの現役世代が支える分野で高齢者が働くことを通じて、現役世代の活躍を推進する。

◎企業などの人手不足の解消

サービス業などの人手不足分野で高齢者が働くことを通じて、企業などの人手不足の解消を図る。

西都市シルバー人材センターの目標

テーマ 「やりがい 生きがい 有ります。生涯現役実施中」

合言葉 「年金は老後に！お小遣いはシルバー人材センターで！」

自分のやりたいこと、やりがい生きがいを見つけ、生涯現役を目指しましょう。今後も少子高齢化が進行し、社会保障の担い手も一層減少していく状況です。そうした中で、センター活動が地域社会を支える側の先方に立ち、生涯現役で次世代に未来のある住みよい西都市にしましょう。

市長挨拶

西都市長

押川 修一郎

新年あけましておめでとございます。

西都市シルバー人材センター会員の皆様ならびにご家族の皆様には、健やかに新年をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

また、皆様には日頃から市政運営推進並びにシルバー人材センター事業の拡充と発展に格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式が一変し、多くの人々が日常生活に多大な影響を受けるとともに、先の見えない不安を感じられたことと思います。そしてその状況は今現在も続いておりますが、このような困難な状況だからこそ、人と人との繋がりを重んじ、皆様と共に地域全体でこの難局を乗り越えなければならぬと考えております。

あらためて皆様におかれましては、マスクの着用やこまめな手洗い、3密を避けるなど個人でできる対策

の徹底と、感染流行地域への不要不急の外出を控えていただきますようお願いいたします。

さて、西都市の高齢化の状況に目を向けますと、高齢化率が三七・三三%となっており、上昇傾向はますます続く見込みであります。

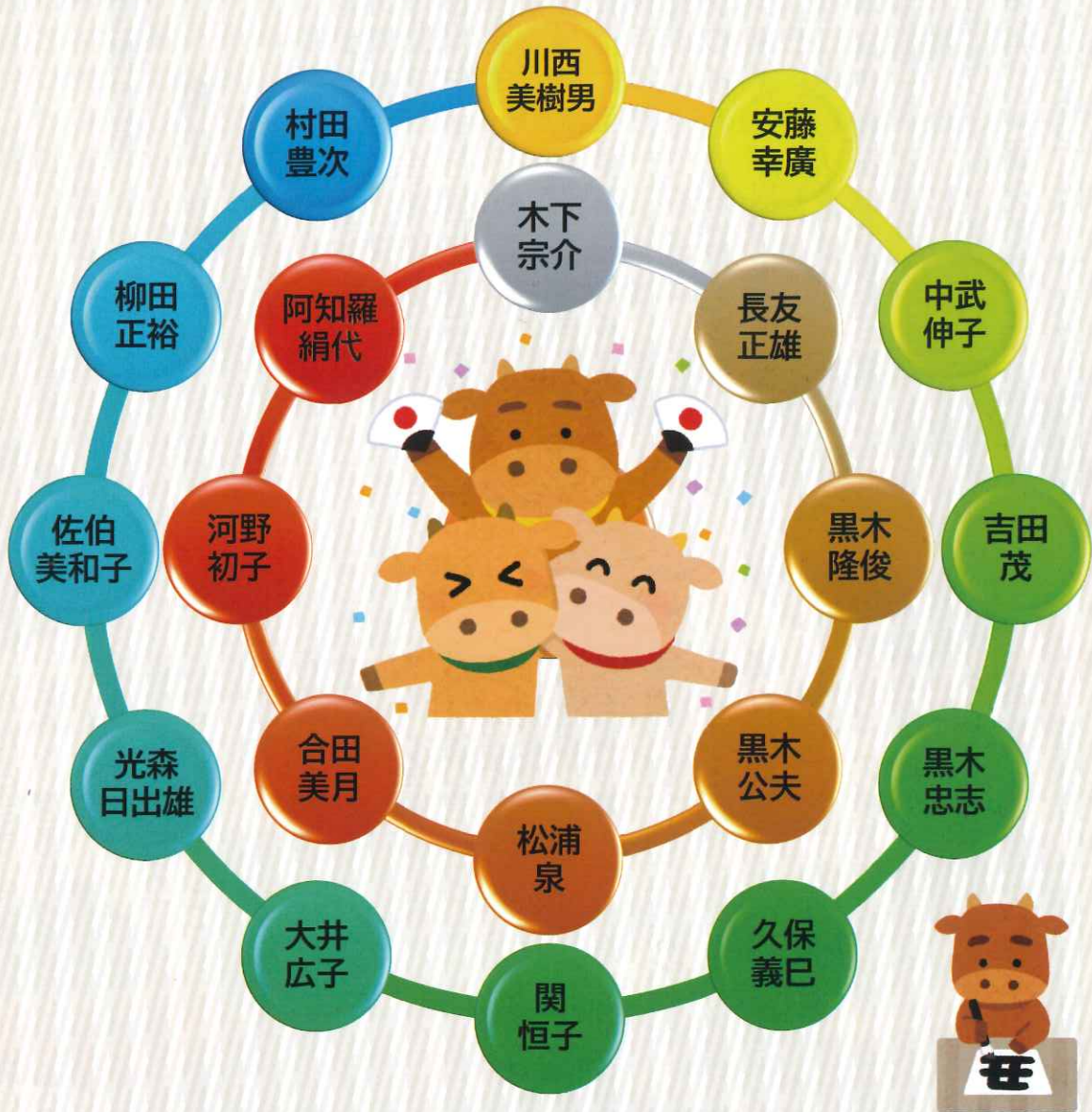
このようなことから、高齢者の就業機会の確保や拡大を図り、社会の担い手として活躍できる場の提供を行うシルバー人材センターの役割はますます重要になってまいります。「第二次会員百万人達成計画」の旗印の下、会員数も年々増加しており、様々な場面で会員の方々の培われてきた経験が地域社会の重要な担い手として認識されているのだと思います。

現在、本市では「第3次西都市地域福祉計画」及び「西都市第九次高齢者保健福祉計画・第八期介護保険事業計画」の策定を進めています。そこに示されている本市の目指すべき将来像である「全ての市民が住み慣れた地域で安心した暮らしを続けながら、住民と行政が協力して地域福祉を推進することができる地域づくり」の実現に向けて、シルバー人材センターとも連携し、より一層の取り組みを強化していくことをお誓いいたします。

今後も西都市シルバー人材センターの益々のご発展と、皆様方のご健勝とご多幸、より一層のご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



今年の年男年女のみなさんです



丑年生まれの方は忍耐強さや我慢強さに恵まれているため
 困難にもめげずに目標達成に努力するという
 性格の方が多いそうです。



取材が来ました!



11/13

～県連合会より～

連合のホームページ掲載録画撮りに西都市シルバー人材センターに巡回訪問。会員との対面による収録中のひとコマです。



12/6付宮日新聞掲載



12/2

～宮日新聞西都支局～

取材を受けて一言!

シルバー人材センターは定年がありません。元気とやる気があれば、生涯現役で働けます。西都市内の高齢者の皆さん、わたしたちと一緒に働いてみませんか!



全国ふれあい短歌大会最優秀賞

目の前のガラスはいらぬと泣き拗ねる妻コロナなど知る由もなし

全国ふれあい短歌大会「介護者の部」に当センターの加藤健二会員が最優秀賞に選ばれました！施設に入所されている奥様に面会した際の歌だそうです。コロナ禍の中で、手の届く距離にいながらガラス越しの対面しかできない切ない想いが伝わってきます。加藤さんは宮崎アララギ会西都支部の会員で、毎月第二木曜日に市公民館で開かれる歌会に参加しています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。ここでご紹介しきれないほどたくさんの歌を詠んでいらっしゃいますが、ほんの一部をご紹介します。

- ＊ 日に乾く妻の洗ひ物取り込みて伝はる温みに募る愛しさ
- ＊ 秋時雨まろびつ君の駆けて来し萩の花咲く逢瀬の道を
- ＊ 緑葉のきらめき揺るる栗の本の景陰にこもるいがぐり坊主

全国ふれあい短歌大会最優秀

伊豆本(宮崎)、加藤(西都)さん受賞

介護や支援を必要とする高齢者やその家族、施設関係者らから短歌を募り、高齢者の生きがいや健康を推進する「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」の入賞作品が決まりました。最優秀賞は「要介護・要支援高齢者の部」が伊豆本千佐代さん(89)＝宮崎市＝の「スカーフをあれこれ迷う初夏の朝その煩わしさが私は好き」、「介

護者の部」が加藤健二さん(76)＝西都市＝の「目の前のガラスはいらぬと泣き拗ねる妻コロナなど知る由(よし)も無し」が選ばれた。

県社会福祉協議会主催。2002年から全国大会となり19回目。2部門に国内外から2034人、3443首の応募があり、本県からは27人が入賞した。応募作は短歌集にまとめて発行する。

このほかの県内入賞者は次の通り(敬称略)。

【要介護・要支援高齢者の部】優秀賞＝漆野コウ、浦ミツ子、福田圭子▽佳作＝村嶋カヨ、岩切恭子、久島昌志、伊セ崎勝昭、西村務、藤本好子、岡上スミ子、神恵ミヨ、榎屋キミ子、奥村武子、桑畑千代子、重久ハツ子、山田訓子、後藤美奈恵

【介護者の部】優秀賞＝那須代美子▽佳作＝金川けい子、黒木靖夫、渡邊真弓、森のり、黒木文子、栗巣タツ子、坂本玲子



加藤健二会員
おめでとうございます

11/17付 宮日新聞掲載



作業風景



頭の体操



答えのわかった方は事務所までお越しください。
先着 25 名様にプレゼントを差し上げます。

まちがい探し

5カ所

「間違い探し」「計算パズル」
のどちらか一つだけでもか
まいません。

左右の絵には5カ所の違いがあります。探してください。



出典元 MY介護の広場

計算パズル 難問!

下の動物たちはそれぞれある数字を表しています。①～⑤の式からそれらの数字を推理して、⑥の式の答えを出して下さい。誰かに助けてもらってもいいので、チャレンジしてみてください。

① + 44 + = 50

② (+) ÷ = 8

③ - - = 0

④ (+) × = 84

⑤ + + = 73

⑥ - - = ?

Wチャンス!
先着 **10** 名様

配分金支払日

就業月	支払月
1月分	2月19日(金)
2月分	3月19日(金)
3月分	4月20日(火)
4月分	5月20日(木)
5月分	6月18日(金)
6月分	7月20日(火)
7月分	8月20日(金)
8月分	9月17日(金)
9月分	10月20日(木)
10月分	11月19日(水)
11月分	12月20日(月)
12月分	1月20日(木)

就業報告書は作業終了後3日以内に提出してください。お願い致します。

今年の行事予定は新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら改めてご案内いたします。



配分金支払証明書を送ります

センターから会員のみなさんに支払われる配分金は雑所得として一定額の特別控除が認められています。確定申告の際に、この証明書を添付してください。

事務局からのお知らせ



自家用車の任意保険加入

センターからの依頼で使用する自家用車は任意保険に加入している車両を使ってください。近年高齢者による自動車事故は増加の傾向にあります。事故は自分だけでなく相手やその家族も巻き込みます。事故の状況により多額の賠償金が発生した場合、自賠償保険だけでは賄いきれません。



編集後記

新年あけましておめでとうございます



いかがお過ごしでしょうか。昨年はコロナウイルスの流行で毎日自粛の生活が続いています。シルバー人材センターでもイベントが全然できませんでした。今年にはコロナウイルスが落ち着いて、みなさんと一緒にイベントができるようになります。それまではコロナウイルスに負けないようにお互い健康で頑張りましょう。

(大井)

これから益々寒くなりますので、仕事を始める前に少し軽い運動をして体を温めてから始めるようにするといいですね。体を動かす仕事は健康面と会員同士仲良くなれるメリットもあると思います。

(松原)